

日田木青会だより

2024
令和6年度
7月号

日田木青会 編集委員会事務局
日田市大字東有田字新山 2776-6
TEL: 0973-24-2167

新入会員紹介

今年度より新たに入会されたメンバーを紹介します。
多様な背景と経験を持つ彼らが、木青会に新しい風を吹き込むことを期待しています。



木青会の未来に向けて。——— 中嶋 竜也

今年度より新たに入会しました中嶋竜也と申します。
歴史と伝統を持つ木青会に入会させていただき、身が引き締まる思いです。
先代の皆様が築いたものを受け継ぎ、さらに発展していけるように精進いたします。
何卒よろしくお願い致します。



学びと成長を目指して。——— 金谷 英太

今年入会した金谷英太です。製材業に携わって2年と少し経ちますが、まだまだわからないことだらけですので、先輩方と関わりながら学び、成長していきたいと思ひます。そして、会の中で一番年下でもあるので、日田木青会を盛り上げ、地域に貢献していきます。何卒よろしくお願い致します。

今年度、日田木青会会長を務めることになりました
権藤です。

昨今、製材業界におきましては、住宅着工数の減少
などで大変厳しい状況が続いておりますが、この状況
に臆することなく、先を見据え、これまでの皆様の経
験や知識を結集し、ここ日田での基幹産業としての一
翼を、引き続き担っていければと思ひます。

また、木青会に新しいメンバー2名が入会し、久々
に若い活気が加わりました。今後、「一人前」になっ
ていく上で、楽しいことばかりではなく、多くの苦労や
我慢をしなければならない時もあります。
しかし、そのような経験がいずれ自信につながるはず
ですので、ぜひ様々な経験を積んでいってください。
最後になりますが、この一年、本業はもちろんのこと、
木青会の活動を通して、製材業界を盛り上げてま
いります。何卒よろしくお願い致します。



新会長就任のご挨拶



令和6年度日田木青会会長
権藤 敏裕

5月24日(金) | 日田市玉川バイパス

令和6年度第1回奉仕活動 玉川バイパスでのごみ拾い



観光際前日の5月24日(金)、玉川バイパスでごみ拾いを行いました。日田市で毎年開催される川開き観光祭を迎えるにあたり、木青会のメンバーが集まり、地域の美化に貢献しました。

当日は、多くの現役メンバーが参加し、2つのグループに分かれて活動しました。それぞれのグループが隅々まで丁寧にごみを拾い集め、道端や歩道のごみを一つ一つ取り除きました。

参加者全員が一丸となり、地域への愛着と責任感を持って作業に取り組む姿はとても頼もしく感じられました。

この活動を通じて、メンバー同士の絆が深まり、地域社会への貢献意識が高まることを期待しています。

記事／(資)末金製材所 末金 洋行



令和6年度役員

令和6年度の新役員が選ばれました。
これからよろしくお願いいたします。

会長 …………… 権藤 敏裕

副会長 …………… 末金 洋行

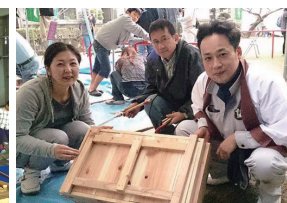
理事(研修委員長) …………… 杉林 敏宣

理事(広報委員長) …………… 一ノ宮 祥二

監事(直前会長) …………… 安心院 啓



新入会員を募集しております！お気軽にお問合わせください！



日田木材協同組合 TEL 0973-24-2167 日田市大字東有田字新山2776-6

<https://www.facebook.com/日田木青会> -1624971187771643/

日田木青会

検索



6月7日(金)～9日(日)長野県・東京都

令和6年度研修旅行

学びと交流の3日間

6月7日～9日の2泊3日で研修旅行に行ってきました。今回の研修先は、長野で開催される日本木青連の全国大会前夜祭と東京での各施設の見学でした。

研修旅行 1日目

1日目は東京経由で長野に入り、軽井沢で研修を行い、夜は前夜祭に参加しました。前夜祭の目的は、今年から開催されるMOKU-1グランプリという木材業界のカロケNo.1決定戦に九州代表として私、横尾昌紀が選ばれたからです。皆さんの期待を背にステージに立ちましたが、結果は1位を取ることはできませんでした。しかし、大分県・日田木青会を全国に知ってもらう良い機会だったのではないかと思います。また、全国のメンバーと知り合うことができ、とても有意義な時間を過ごせました。



軽井沢と一ノ宮くん



2日目昼食は、勝どきの『むらさき』にてもんじゃ焼き



全国会員長野大会式典

研修旅行 3日目

3日目は日刊木材新聞社、有明アリーナ、豊洲市場などの施設の研修を行いました。

この2日間の研修を通じて感じたのは、東京は緑や木材のない冷たい施設が多いイメージでしたが、現在は逆に木材利用を推進していることもあり、目に付くところに多くの木材が使われていました。それは国産材の需要が伸びている証拠でもあり、注目されていると改めて感じました。しかし現状としては住宅着工数が減り、住宅の内装に使われる木材も減っています。

更に非住宅の分野でも技術や特殊な処理方法が必要な中、今後我々がどのように進んでいくべきかを考えるきっかけになった良い研修旅行になったのではないかと思います。

記事／横尾昌紀

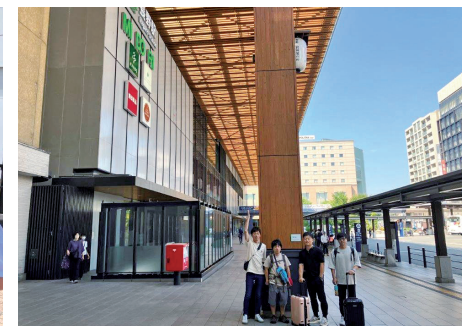


日刊木材新聞社と一ノ宮くん

日刊木材新聞社の社屋は、日本木青連が主催する木材活用コンクールで最優秀賞(国土交通大臣賞)を受賞しています。



軽井沢駅



長野駅の杉柱



出発式



MOKU-1グランプリ



軽井沢タリアセン



アントニンレイモンド別邸



豊洲市場



有明アリーナ



日刊木材新聞社の社屋を正面から眺めると、木造カーテンウォールと耐火ガラス越しに見える伝統的なデザインの三角格子や開放的なファサード、外観のタモ板全目の美しさなどが目に入ります。



国立競技場



ヒューリックニュー銀座8ビル

研修旅行 2日目

2日目は朝から東京へ移動し、国立競技場やヒューリックニュー銀座ビルなどを見学しました。新しくなった国立競技場は初めて行きましたが、全国から集めた木材を使用しており、そこでオリンピックが開催されたと思うと感慨深いものがありました。

また、夜は式典や会議に参加していたメンバーが全員揃い、親睦を深めることができました。